FUJIFILM

35mm Compact Camera

準備編

基本編

応用編

使用説明書

ご使用前に必ずお読みください。

202B10706100

この使用説明書について

1 フィルムを入れる

外箱とパトローネ（フィルムの容器）にDXマークがある35mmフィルムを使用します。

基本編

❶ フィルムが装てんされていないこと、フィルムカウンターが表示されていないことを確認します。

❷ 裏ぶた開放つまみをゆっくりと動かします。

❸ 裏ぶたを開けます。

- DXマークのないフィルムはISO100の感度にセットされます。
- フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。
- フィルムを装てん・取り出すときに、レンズ部を触ったり、内部にゴミやほこりが入らないようにご注意ください。レンズ部が汚れたり、ゴミやほこりが入ってしまったら、45ページの「取扱上のお願い」を参考にカメラを清掃してください。

❷撮影途中のフィルムが入っているときは絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムを取り出す場合は、26ページをご参照ください。
❸裏ぶたに無理な力を加えないでください。

17

操作の説明
☞：カメラの動作、参考になる情報
➜：参照ページ

注意していただきたいこと
丸数字は操作説明部の手順番号を示しています。

同梱品

この製品には、カメラ本体以外に以下の付属品が同梱されています。箱を開けたときにご確認ください。

- □ リチウム電池　CR2 1本（カメラにセット済み）
- □ ソフトケース
- □ ストラップ
- □ リモートコントローラー
- □ 使用説明書
- □ 保証書

目次

J 日本語

カメラの特長

■ 35mm コンパクトカメラ
- 小型・軽量3.6倍ズーム（28mm～100mm）
- 高画質スーパーEBCフジノンレンズ
- 高性能スーパーデジタルプログラム（DP）ズームフラッシュ
- マルチイルミネーション表示
- 見やすい2色バックライト付き大型液晶画面
- 高品位アルミボディ
- セルフタイマー／リモコン機能付き

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。

落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。

カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。

フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。

引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。

カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。

電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。

⚠警告

 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。

 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠注意

カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。

自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。

 電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

CE	このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。 （CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

各部の名称

AF（オートフォーカス）窓
リモコン受信部（➜P.36）
シャッターボタン（➜P.21）
電池ぶた（➜P.12）
ストラップ取り付け部（➜P.11）
電池ぶた開放つまみ（➜P.12）
イルミネーションランプ（➜P.10）
セルフタイマー（➜P.33）／リモコンランプ（➜P.36）
ファインダー窓
フラッシュ発光部（➜P.28）
AE受光窓
撮影レンズ／レンズカバー（➜P.13）

スプール（➜P.18）
FILM TIPマーク（➜P.18）
フィルム確認窓（➜P.17）
裏ぶた（➜P.17、25）
圧板
途中巻き戻しボタン（➜P.26）
三脚ねじ穴
フィルム室

AFランプ（緑）（➜P.9）

ファインダー接眼部（➜P.5）

裏ぶた開放つまみ（➜P.17、25）

液晶表示部（➜P.6）

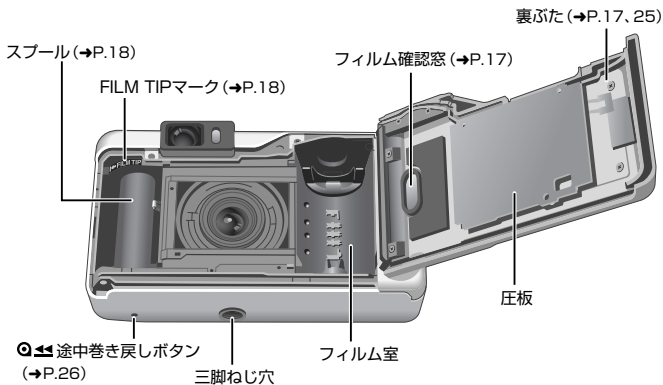
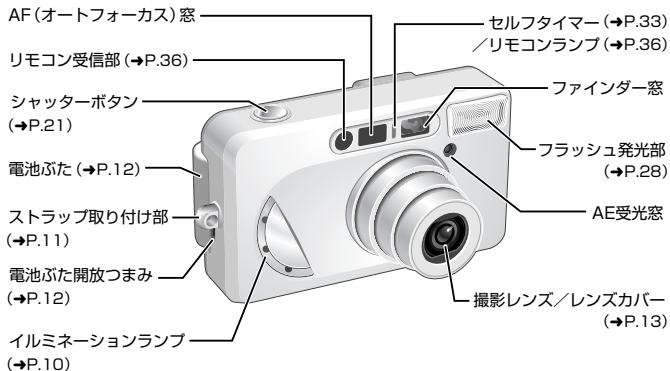
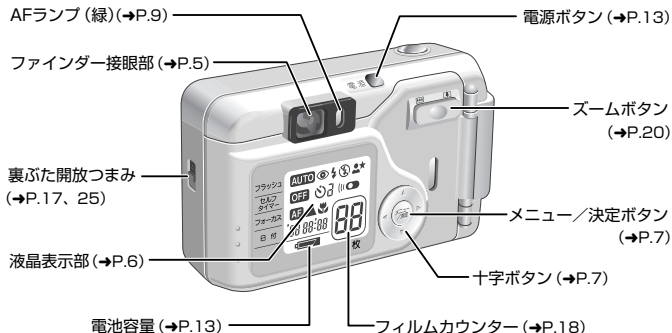
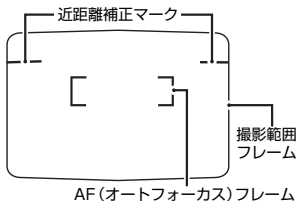
電池容量（➜P.13）

フィルムカウンター（➜P.18）

電源ボタン（➜P.13）

ズームボタン（➜P.20）

メニュー／決定ボタン（➜P.7）

十字ボタン（➜P.7）

●ファインダー

撮影範囲フレーム

このフレーム内で構図を決めます。

AF（オートフォーカス）フレーム

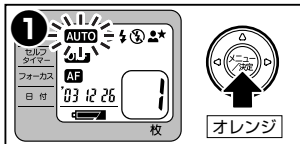
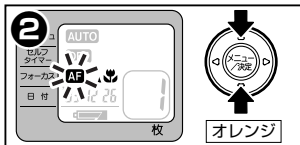
被写体（写したいもの）にこのフレームを合わせます。

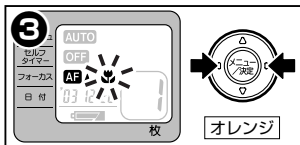
近距離補正マーク

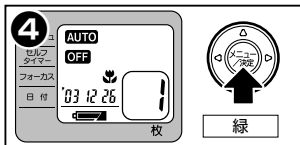
近距離撮影するときには、このマークを目安に構図を決めます（➜22ページ）。

メニュー・モード一覧

メニュー	モード		使用例など	参照ページ
フラッシュ	AUTO	スーパーデジタルプログラムフラッシュモード	通常の撮影 ●被写体の明るさ、距離、ズーム倍率に応じてフラッシュの光量を自動的に調節します。	28
		赤目軽減モード	赤目現象を軽減したいとき	
		強制発光モード	窓際や木陰などの逆光撮影	
		発光停止モード	フラッシュを発光させたくないとき／フラッシュ光の届かない被写体の撮影	
		夜景ポートレート(スローシンクロ)モード	夜景をバックに人物を撮影したいとき ●スローシンクロの赤目軽減モードになります。	
セルフタイマー	OFF	セルフタイマー／リモコンOFFモード(通常モード)	セルフタイマーやリモコン撮影せず、普通に撮影するとき	32
		セルフタイマーモード 撮影回数1回	撮影者自身も一緒に撮りたいとき ●シャッターボタンを押してから約10秒後にシャッターが切れます。	
		セルフタイマーモード 連続撮影2回		
		セルフタイマーモード 連続撮影3回		
		リモコンモード	カメラから離れてシャッターを切りたいとき ●専用リモコンが必要です。	34
フォーカス	AF	AF(オートフォーカス)モード	通常の撮影	37
		遠景モード	風景などの遠方撮影 ●フラッシュは発光しません。	
		マクロモード	花や昆虫などを大きく撮りたいとき ●レンズが望遠側(f=100mm)に固定されます。	
日付	'03 12 26	年 月 日		16
	12 26'03	月 日 年		
	26 12'03	日 月 年		
	26 18:15	日 時 分		
	OFF	日付写し込みなし	日付を写し込みたくないとき	

メニュー／決定ボタン・十字ボタンの使い方

❶ メニューとモードの選択に入る

❷ メニューの選択

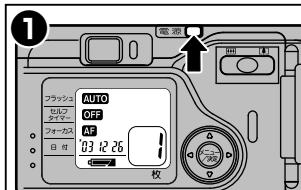
☞変更したいメニューを点滅／点灯させます。

❸ モードの選択

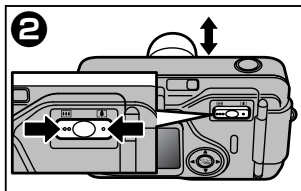
☞選択中のモードが点滅します。

❹ モードの決定

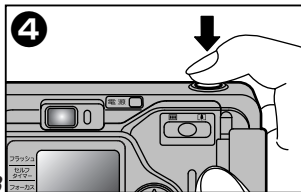
☞決定したモードが表示されます。

- 液晶表示部のバックライトは、
  - 緑：電源を入れたとき、モードを決定したときに点灯し、10秒後に消灯します。
  - オレンジ：モード選択中に点灯し、10秒以上操作しないと消灯します。
  - 夜間などで液晶表示部が見にくいときは、△▽◁▷ボタンを押すと、バックライト（緑）が点灯します。

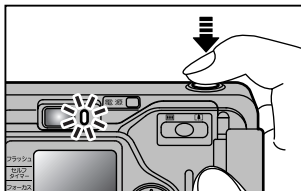
使い方早わかり

簡単！オート撮影するには

❶ **電源**ボタンを押して電源を入れます。

☞液晶表示部に AUTO OFF AF が表示され、オート撮影の設定になります。

❷ ズームします。

❸ 構図を決めます。

❹ シャッターを切ります。

この操作だけで、きれいな写真が撮影できます。詳しくは19ページ～をご参照ください。

●AFランプ

シャッターボタンを半押しすると、AFランプ(緑)が点灯/点滅します。

■AFランプの表示と内容

※シャッターボタン半押し時

表 示	内 容
点 灯	撮影可能です(測距、測光完了)。
早い点滅	撮影範囲外です。 0.65m〜∞で撮影してください。 ＊🌷モード時にはシャッターロックがかかります。0.5m〜1mで撮影してください。
ゆっくり点滅	ピントが合いません。 ●AFフレームに被写体が入るようにしてください。 ●AFの苦手な被写体のため、AFが働きません。撮りたい被写体と同じような距離、明るさの被写体にAFフレームを合わせ、AFロック撮影してください。 ＊🌷モード時にはシャッターロックがかかります。

イルミネーションランプ

全点灯
(撮影可能)

全点滅
(警告)

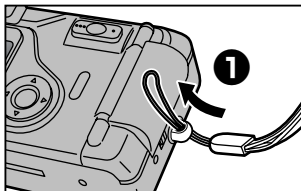
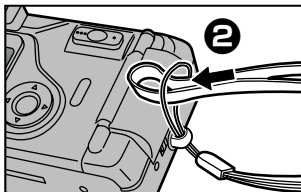
AFランプに連動して、イルミネーションランプが点灯/点滅します。

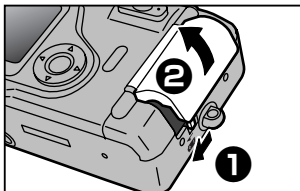
●イルミネーションランプ

カメラ前面の3つのイルミネーションランプは、次のように光ってカメラの動作を表します。

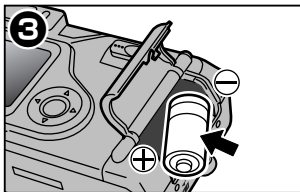
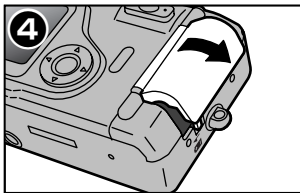
電池を入れる	全点灯 → 下から上に点滅	全点灯→下から上に順々に点滅
電源を入れる 電源を切る	下から上に点灯	下から上に順々に点灯
シャッターボタン半押し	全点灯（撮影可能） 全点滅（警告）	AFランプに連動し、全点灯（撮影可能）／全点滅（警告）
シャッターを切る	一瞬全点灯	AFランプ、セルフタイマー／リモコンランプに連動し、一瞬全点灯
フィルムが送られる	下から上に点滅	下から上に順々に点滅（フィルムが送られるまで繰り返し）
セルフタイマー作動	約7秒間全点灯 → 約3秒間全点滅	セルフタイマーランプに連動し、約7秒間全点灯→約3秒間全点滅
モードセット	下から上にゆっくりな点滅	下から上にゆっくりな点滅（モードを解除するまで繰り返し）
リモコン作動	約2秒間全点滅	リモコンランプに連動し、約2秒間全点滅

電源OFFのときに**メニュー／決定**ボタンを押しながら**電源**ボタンを押すと、イルミネーションモードのON／OFFを切り替えられます。

1 ストラップの取り付け

ストラップ取り付け部にストラップを通し、取り付けます。

●市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

2 電池を入れる ＊工場出荷時に電池はセットされています。

■使用する電池
リチウム電池
フジフイルム リチウム CR2 1本

❶ 電池ぶた開放つまみを動かします。

❷ 電池ぶたを開けます。

❸ 表示に従って⊖側から電池を入れます。

❹ 電池ぶたを閉めます。

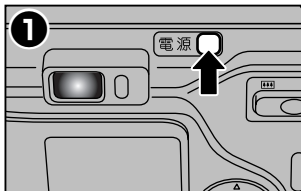
イルミネーションランプ

全点灯　下から上に点滅

電池を入れると、全点灯→下から上に順々に点滅します。

- リチウム電池では約250コマ撮影できます（当社試験条件による）。
- 旅行やたくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によっては電池の入手が困難な場合があります。
- 電池を交換したときは必ず日付を合わせてください（➜14ページ）。

❷ 電池ぶたに無理な力を加えないでください。

3 電源ON/OFF・電池容量のチェック

❶ **電源**ボタンを押して電源を入れます。もう一度押すと電源が切れます。

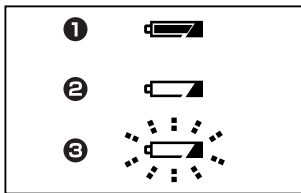
☞電源を入れるとレンズカバーが開き、液晶が表示されます。

☞電源を入れると、オート撮影の設定になります(➜19ページ)。

イルミネーションランプ

電源入れたとき、電源を切ったときに、下から上に順々に点灯します。

下から上に点灯

電池容量のチェック

電源を入れ、液晶表示部で電池容量をチェックします。

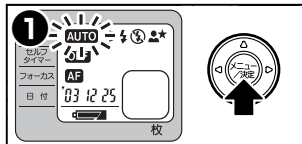
❶点灯：電池の容量はOKです。

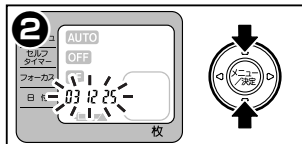
❷点灯：電池の容量が不足しています。新しい電池を準備してください。

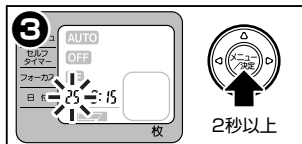
❸点滅：電池容量がなくなったため、シャッターは切れません。新しい電池に交換してください。

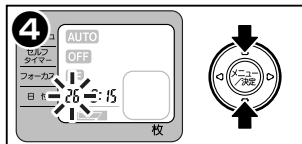
- 電源を入れたまま約7分間放置すると、電源は自動的に切れます。
- **電源を入れるときに、レンズ部を指で押さえないでください。**
- **撮影前には必ず電池容量をチェックしてください。**
- 電池の交換は撮影途中のフィルムが入っていても可能です。

4 日付の合わせ方

日付を変更するには

❶ 電源を入れ、メニュー／決定ボタンを押します。

☞液晶表示部がオレンジになり、メニューの選択に入ります。

❷ 十字ボタンの△▽ボタンを押して、日付メニューを点滅させます。

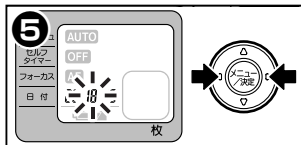
☞日付メニューが選択されます。

❸ メニュー／決定ボタンを2秒以上押し続けます。

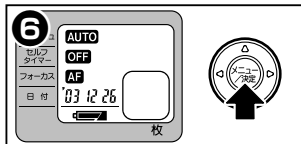
☞ “日” が点滅し、日付の修正に入ります。

❹ △▽ボタンを押して、点滅している数字を修正します。

■設定範囲

年：’03〜’33（2003年〜2033年）
月：1〜12　日：1〜31
時：0〜23　分：00〜59

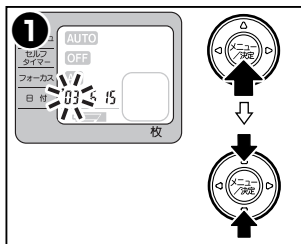
● “年月日”は“時分”に連動して変わります。

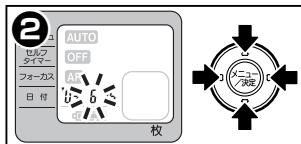
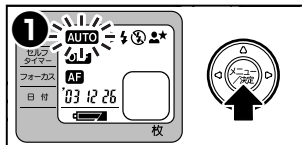
＊工場出荷時に日付はセットされています。

❺ ◁▷ボタンを押すと、設定項目（日・時・分・年・月）が変わります。

☞選択中の項目が点滅します。

❻ 日付合わせが終了したら、**メニュー／決定**ボタンを押します。

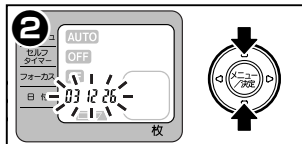
☞液晶表示部が緑に変わり、設定した日付が表示されます。

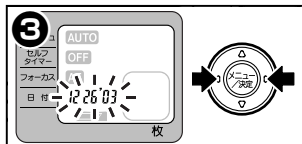
☞時報に合わせたいときは時報のゼロ秒時に**メニュー／決定**ボタンを押します。

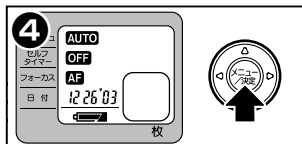
電池交換後、日付を合わせるには

❶ 日付メニューを選択します。

☞年'03が点滅し、日付の設定に入ります。

❷ 前項の❹～❻と同様に、△▽◁▷ボタンで日付を合わせ、その後、**メニュー／決定**ボタンを押します。

5 日付モードの選択

❶ 電源を入れ、メニュー／決定ボタンを押します。

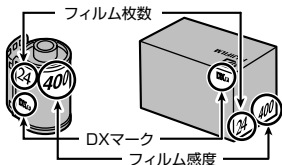
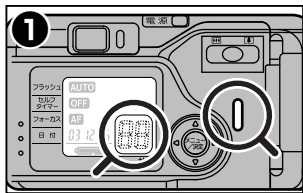
☞液晶表示部がオレンジになり、メニューの選択に入ります。

❷ △▽ボタンを押して、日付メニューを点滅させます。

☞日付モードの選択に入ります。

❸ ◁▷ボタンを押して、日付モードを選択します。

☞選択中のモードが点滅します。

❹ メニュー／決定ボタンを押して決定します。

☞液晶表示部が緑に変わり、決定したモードが表示されます。

選択した日付モードが写真の右下に写し込まれます。

- “0FF”を選択すると、写真に日付は写し込まれません。
- 写し込まれた日付表示が背景によっては見えにくくなる場合があります。
- 日付の写し込みはフィルムが次のコマに巻き上げられるときに行われますので、規定枚数以上撮影した場合、最後のコマには写し込まれないことがあります。

1 フィルムを入れる

外箱とパトローネ(フィルムの容器)にDXマークがある35mmフィルムを使用します。

❶ フィルムが装てんされていないこと、フィルムカウンターが表示されていないことを確認します。

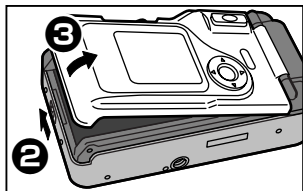
❷ 裏ぶた開放つまみをゆっくりと動かします。

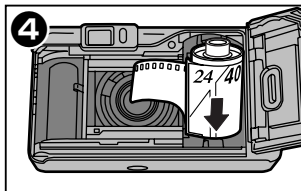
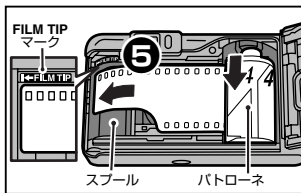
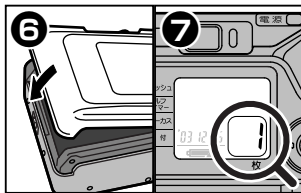
❸ 裏ぶたを開けます。

●DXマークのないフィルムはISO100の感度にセットされます。

●フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。

●フィルムを装てん・取り出すときに、レンズ部を触ったり、内部にゴミやほこりが入らないようにご注意ください。レンズ部が汚れたり、ゴミやほこりが入ってしまったら、45ページの「取扱上のお願い」を参考にカメラを清掃してください。

❷撮影途中のフィルムが入っているときは絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムを取り出す場合は、26ページをご参照ください。

❸裏ぶたに無理な力を加えないでください。

フィルムを入れる

❹ フィルムを入れます。

❺ パトローネを押さえながら、フィルムの先端をFILM TIPマークまで引き出し、スプールの上にのせます。

❻ 裏ぶたを閉めます。

☞フィルムが自動的に1コマ目まで送られます。

❼ "1" が表示されていることを確認します。

❺フィルムが浮き上がらないように、パトローネの角度を調節してください。

❺フィルムの先端がスプールの上にのっていることを確認してください。

❺フィルムを長く引き出しすぎたときは、フィルムを一度取り出して、長さを調節してください。

❻フィルム確認窓から、装てんしたフィルムの種類、フィルム枚数、フィルム感度が確認できます。

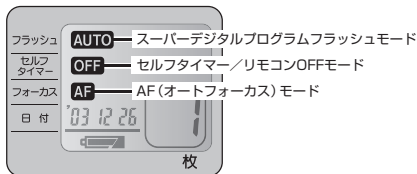
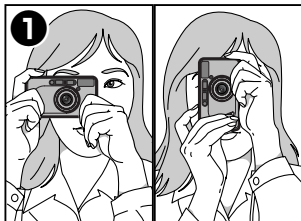
❼フィルムが正しく装てんされていないと、"E" が点滅し、シャッターが切れません。撮影可能なフィルムを正しく装てんし直してください。

2 撮影しよう

電源を入れると、次のオート撮影の設定になります。ここでは、オート撮影の方法を紹介します。

＊その他のモードでの撮影方法は、応用編（➜28ページ～）をご覧ください。

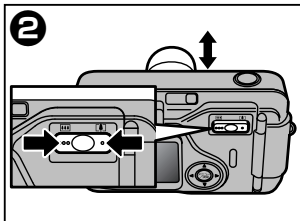
基本編

＜構え方＞

❶ 電源を入れ、両脇を締め、カメラを両手でしっかり構えます。

☞縦位置撮影ではフラッシュ発光部が上にくるように構えます。

● 大切な撮影（結婚式や海外旅行、業務用途など）の前には試し撮りをして、カメラが正常に機能することを確認してください。

❶ レンズやフラッシュ発光部、AF窓、AE受光窓に指やストラップが掛からないようにご注意ください。

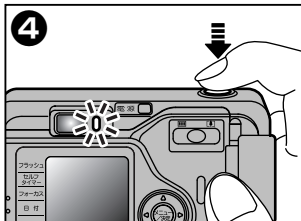
＜ズーム＞

❷ 被写体を大きく写したいときは、ズームボタンの[ ]マーク側を押して望遠側にズームします。広い範囲を写したいときは、[ ]マーク側を押して広角側にズームします。

＜構図の決め方＞

❸ AFフレーム全体を被写体が満たすようにねらいます。

❷フォーカス：AFモード時に撮影できる範囲は、0.65m〜∞です。
次のような撮影を行う場合は、フォーカスモードを切り替えてください。

- 遠距離撮影：▲ モード（➔38ページ）
- マクロ撮影（撮影距離0.5m〜1m）：❀モード（➔39ページ）

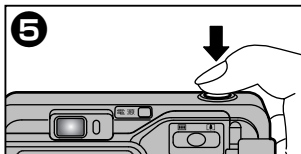
＜シャッターボタン半押し＞

❹ シャッターボタンを半押しします。

☞AFランプ(緑)が点灯したら、ピント合わせは完了です(➔9ページ)。

イルミネーションランプ

全点灯

AFランプに連動します。全点灯したら、ピント合わせは完了です。

＜シャッターボタン全押し＞

❺ シャッターを切ります。

☞フィルムが次のコマまで送られます。

☞フィルムカウンターの数字は撮影のたびに1コマずつ増えていきます。

イルミネーションランプ

①

一瞬全点灯

シャッターを切ると、AFランプ、セルフタイマー／リモコンランプに連動し、一瞬全点灯します。

②

下から上に点滅

フィルムが次のコマに送られる間、下から上に順々に点滅を繰り返します。

❹被写体に約65cmより近づくと、AFランプ、イルミネーションランプが早く点滅し、ピントが合わないことを警告します。さらに約30cmより近づくと、AFランプ、イルミネーションランプは点灯することがありますが、ピントは合いません(➔9ページ)。

❹AFランプ、イルミネーションランプがゆっくり点滅するときには、シャッターは切れますが、ピントが合わない写真になることがあります(➔9ページ)。

❺AFランプ、セルフタイマー／リモコンランプ、イルミネーションランプは、いったん消えてからシャッターが切れた直後にもう1回点灯します。

❺フラッシュ充電中(液晶表示部の"ϟ"点滅中)はシャッターは切れません。

●近距離撮影の場合

撮影距離が約1mより近い場合は、上図の▒の範囲が写ります。被写体が▒の範囲内に収まるように構図を決めます。

- 近距離撮影では、ファインダー窓から見える範囲と写る範囲にズレが生じます（ファインダー窓と撮影レンズの位置が違うため）。近距離補正マークは、ファインダー窓から見える範囲と実際に写る範囲の目安になります。

●AFの苦手な被写体について

次のような場合、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、AFロック撮影(➜24ページ)、遠景モード撮影(➜38ページ)を行ってください。

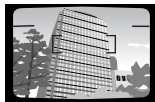
- ●被写体の近くに太陽などの明るい光源や反射光(車のフロントガラス、波の反射など)がある場合
- ●画面の中央部付近に鏡、金属面などの反射面がある場合
- ●被写体が縦線のみで構成されている場合
- ●被写体が高速で移動している場合
- ●被写体に比べて、背景が極端に明るい場合

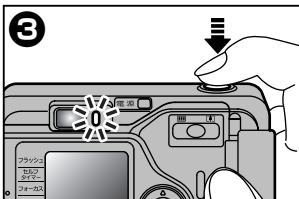
なお、以下の場合には、AFランプ、イルミネーションランプがゆっくり点滅し、ピントが合わないことを警告します。
また撮影距離が約3m〜∞に固定されます。

- ●被写体のコントラストが極端に低い場合

- ●繰り返しパターンの連続するもの

基本編

3 AF（オートフォーカス）ロック撮影

❶ このような構図ではAFフレームが被写体（この場合は人物）から外れています。このままでは被写体にピントが合いません。

❷ AFフレームに被写体が入るようにカメラを動かします。

❸ そのままシャッターボタンを半押し（AFロック）します。

☞AFランプ（緑）の点灯を確認します（➜9ページ）。

- 撮影範囲外、ピントが合わないときには、AFランプが点滅します（➜9ページ）。

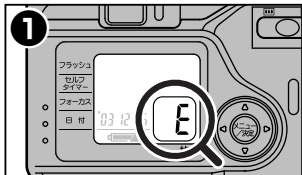
イルミネーションランプ

全点灯

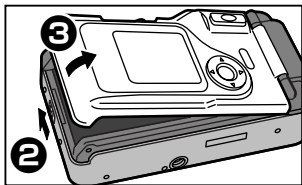
AFランプに連動します。全点灯したら、ピント合わせは完了です。

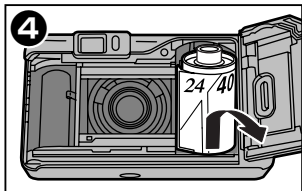
❹ シャッターボタンを半押し（AFロック）したまま最初の構図に戻して、シャッターを切ります。

- AFロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

4 フィルムを取り出す／撮影途中でフィルムを取り出す

フィルムを取り出すには

❶ 最後の1コマを撮り終わると、レンズが収納され、フィルムが自動的に巻き戻されます。

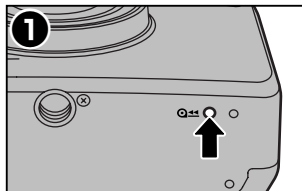
☞巻き戻しが完了すると、“E”が表示されます。

❷ 裏ぶた開放つまみをゆっくりと動かします。

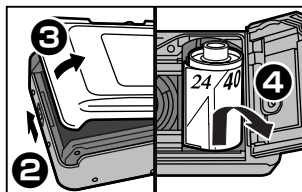
❸ 裏ぶたを開けます。

❹ フィルムを取り出します。

- **フィルムを取り出すときに、レンズ部を触ったり、内部にゴミやほこりが入らないようにご注意ください。**
- 規定枚数以上撮影できる場合がありますが、最後のコマはプリントされないことがあります。

❸裏ぶたに無理な力を加えないでください。

- **必ずモーターが止まり“E”が表示されたことを確認してください。“E”が表示される前に裏ぶたを開けようとすると、次のような恐れがありますのでご注意ください(➜27ページ)。**
  - **フィルムが感光する。**
  - **次のフィルムを入れたときすぐに巻き戻されてしまい、“E”が表示される。**

撮影途中でフィルムを取り出すには

❶ ボールペンの先などで ボタンを押します。

☞巻き戻しが完了すると、"E" が表示されます。

❷ モーターが止まり "E" が表示されたことを確認してからフィルムを取り出してください。

- **巻き戻したフィルムは再撮影できません。撮影途中でフィルムを現像に出したいとき以外は、ボタンを押さないでください。**
- ボタンは、先端のとがったもので押さないでください。

●カメラにフィルムが入っているときのご注意

- 撮影途中のフィルムが入っているときには、絶対に裏ぶたを開けないでください。

☞途中で裏ぶたを開けると、撮影済みのフィルムが感光してしまいます。
☞裏ぶたを開けると、フィルムカウンターは“1”にリセットされます。

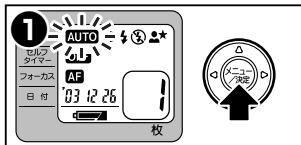
万一裏ぶたを開けてしまったときは、

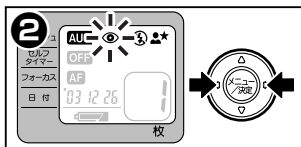
❶フィルムを取り出さず、そのまま裏ぶたを閉めてください。
❷残りのコマは続けて撮影できます。

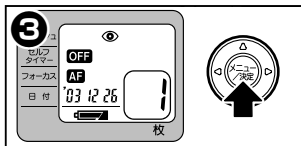
*裏ぶたを開けるとフィルムカウンターがリセットされるため、正しいフィルム撮影コマ数は表示されません。

1 フラッシュモードの選択

●フラッシュメニュー一覧

液晶表示	AUTO	◉	⚡	⊘⚡	👤★
モード	スーパーデジタルプログラムフラッシュモード	赤目軽減モード	強制発光モード	発光停止モード	夜景ポートレート(スローシンクロ)モード

❶ 電源を入れ、**メニュー／決定**ボタンを押します。

☞液晶表示部がオレンジになり、**フラッシュメニュー**が点滅／点灯し、フラッシュモードの選択に入ります。

❷ ◁▷ボタンを押して、フラッシュモードを選択します。

☞選択中のモードが点滅します。

❸ **メニュー／決定**ボタンを押して決定します。

☞液晶表示部が緑に変わり、決定したモードが表示されます。

- 電源が切れると、◉モード以外は自動的にAUTOモードになります。◉モードは電源が切れても保持されます。
- 👤★モードは、1回の撮影ごとに解除されます。
  連続してご使用になる場合は、モード選択後、約2秒間**メニュー／決定**ボタンを押し続けてください（この場合、モード決定後も選択したモードが点滅し続けます）。モードは撮影後も保持され、続けて撮影できます。電源が切れると自動的に解除されます。
  ただし、▲、✿モード（→38、39ページ）の連続撮影設定を行うと、👤★モードの連続撮影設定は解除されます。

●フラッシュ撮影距離

フィルム感度によってフラッシュ光の届く距離が異なります。暗いところではフラッシュ撮影距離に注意して撮影してください。

フィルム感度	広角(28mm)	望遠(100mm)
ISO 100	0.65m ～ 2.9m	0.65m ～ 2.0m
ISO 400	0.65m ～ 5.8m	0.65m ～ 4.0m
ISO 800	0.65m ～ 8.1m	0.65m ～ 5.6m
ISO 1600	0.65m ～ 11.6m	0.65m ～ 8.0m

(カラーネガフィルム使用時)

● AUTO ◉ ϟ 👤★モード選択時、周囲がとても暗い場合には、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光としてフラッシュが1回～4回発光し、被写体を照らします。

● ▲モード(➔38ページ)設定時は自動的に⊘モードになり、他のフラッシュモードは選択できません。

● ◉、👤★モードを設定時に🌷モード(➔39ページ)を選択すると、フラッシュモードは自動的にAUTOモードになり、AUTO、ϟ、⊘モード以外のフラッシュモードは選択できません。

AUTO スーパーデジタルプログラム（DP）フラッシュモード

通常の撮影に使用します。

被写体の明るさ、距離、ズーム倍率に応じて、フラッシュの光量を自動的に調節します。

- 被写体がとても明るく遠すぎる場合、フラッシュは発光しません。
- スーパーDPフラッシュの詳しい内容は、40、41ページをご参照ください。

赤目軽減モード

赤目現象を軽減します。

撮影前にフラッシュが10回プレ発光し、11回目に撮影のためのフラッシュが発光します。

- 電源が切れても保持されます。
- プレ発光から撮影のためのフラッシュ発光まで、AFランプは点灯し続けます。AFランプ点灯中はカメラを動かさないでください。

●赤目現象について

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減モードを使用すると共に、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

⚡ 強制発光モード

窓際や木陰などの逆光撮影に使用します。

スーパーDPフラッシュモードと違い、明るいところでもフラッシュが必ず発光します。

ⓢ 発光停止モード

室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのフラッシュ光が届かない距離での撮影などに使用します。

フラッシュの発光を停止します。

- 暗いところで撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

👤★ 夜景ポートレート（スローシンクロ）モード

- **👤★モードでは、スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため必ず三脚を使用してください。また、撮影中は撮られる人も動かないでください。**

夜景をバックにした人物を撮影するときに使用します。

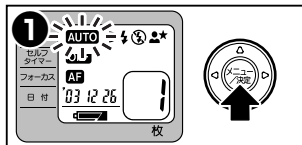
スローシャッターの赤目軽減モードになり、夜景と人物の両方をきれいに撮影することができます。

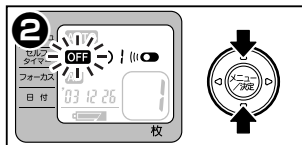
- 1回の撮影ごとに解除されます。
  連続してご使用になる場合は、モード選択後、約2秒間**メニュー／決定**ボタンを押し続けてください（この場合、モード決定後も選択したモードが点滅し続けます）。モードは撮影後も保持され、続けて撮影できます。電源が切れると自動的に解除されます（➜28ページ）。

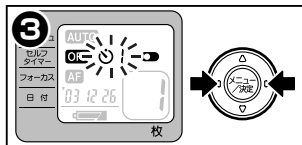
応用編

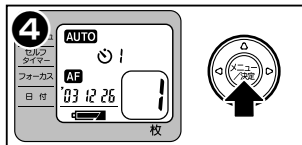
2 セルフタイマーモードの選択

●セルフタイマーメニュー一覧

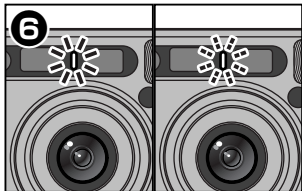
液晶表示	OFF	1	2	3	((
モード	セルフタイマー/リモコンOFFモード(通常モード)	セルフタイマーモード 撮影回数1回	セルフタイマーモード 連続撮影2回	セルフタイマーモード 連続撮影3回	リモコンモード (➔34ページ)

❶ 電源を入れ、**メニュー/決定**ボタンを押します。

☞液晶表示部がオレンジになり、メニューの選択に入ります。

❷ △▽ボタンを押して、**セルフタイマーメニュー**を点滅/点灯させます。

☞セルフタイマーモードの選択に入ります。

❸ ◁▷ボタンを押して、"ꝺ"と連続撮影回数を選択します。

☞連続撮影回数は3回まで選択できます。

❹ **メニュー/決定**ボタンを押して決定します。

☞液晶表示部が緑に変わり、決定したモードが表示されます。

❺ 構図を決めて、シャッターボタンを押します。

❻ AFフレーム内に見えるものにピントが合い、セルフタイマーランプが約7秒間点灯→約3秒間点滅した後シャッターが切れます。

☞連続撮影を選択した場合には、3秒〜9秒間隔で選択した回数の撮影が行われます。

イルミネーションランプ

➡

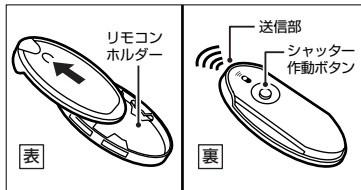
約7秒間全点灯　　約3秒間全点滅

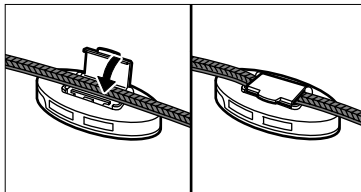
セルフタイマーランプに連動し、約7秒間全点灯→約3秒間全点滅します。

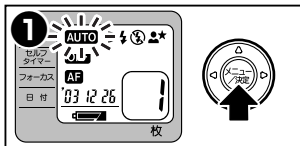
応用編

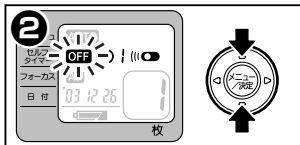
- AFロック撮影も可能です（➜24ページ）。
- 電源が切れると、自動的にセルフタイマーメニューはOFFモードになります。
- ⏲モードは1回の撮影ごとに解除されます。
- **カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケや露光不良になることがあります。**
- **スタートしたセルフタイマーモードを解除したいときは、メニュー／決定ボタンを押してください。**

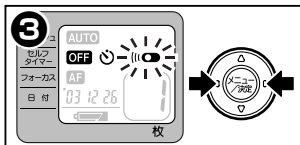
3 リモコンモードの選択

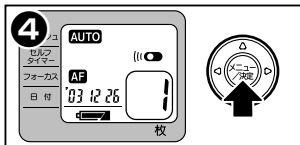
リモコン撮影には専用リモコンが必要です。

矢印の方向にリモコンをスライドさせて、リモコンホルダーから外します。

- リモコンをリモコンホルダーに戻すときは、反対方向にスライドさせ、カチッと音がするまで押し込んでください。
- リモコンはイラストとタイプが異なる場合があります。

カメラのストラップにリモコンホルダーを取り付けておくと便利です。

- コインを使うとリモコンホルダーを簡単に開けられます。
- 電池の寿命は約3年です（当社試験条件による）。リモコン撮影ができなくなったら、ご購入店または富士フイルムサービスステーションにお申し出ください。有償にて電池交換いたします。

❶ 電源を入れ、**メニュー／決定**ボタンを押します。

☞液晶表示部がオレンジになり、メニューの選択に入ります。

❷ △▽ボタンを押して、**セルフタイマー**メニューを点滅／点灯させます。

☞セルフタイマー／リモコンモードの選択に入ります。

❸ ◁▷ボタンを押して、"((●"を選択します。

☞選択中のモードが点滅します。

❹ **メニュー／決定**ボタンを押して決定します。

☞液晶表示部が緑に変わり、"((●"が表示されます。

イルミネーションランプ

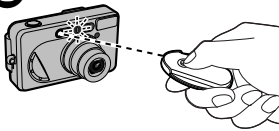
下から上に
ゆっくりな点滅

((●モードを設定すると、下から上にゆっくりな点滅を繰り返します。

＊((●モードを解除するまで点滅を繰り返します。電池が消耗しますので、リモコンを使用しないときには((●モードを解除してください。

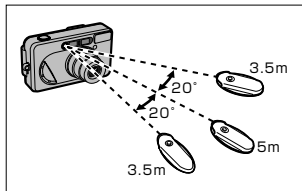
応用編

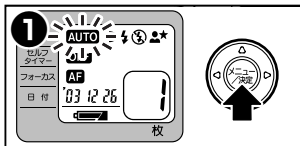
● ((●モードは、撮影後も解除されません。電源が切れると自動的に解除されます。

❺ AFフレームを被写体に合わせて、構図を決めます。

❻ リモコンをカメラのリモコン受信部に向けて、シャッター作動ボタンを押します。

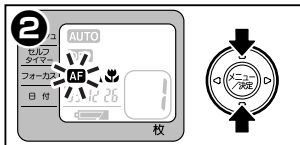
☞リモコンランプが約2秒間点滅した後、シャッターが切れます。

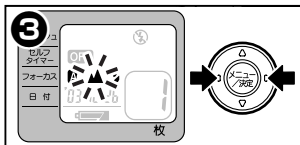
イルミネーションランプ

リモコンランプに連動し、約2秒間全点滅します。

リモコン操作が可能な範囲は、カメラ正面で約5m以内、上下左右各20°で約3.5m以内です。

- リモコン撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- 逆光撮影時にカメラのリモコン受信部に直射日光が入っていると、リモコン撮影ができない場合があります。そのようなときは、ᔕモード(➜32ページ)を使用してください。

4 フォーカスモードの選択

❶ 電源を入れ、**メニュー／決定**ボタンを押します。

☞液晶表示部がオレンジになり、メニューの選択に入ります。

❷ △▽ボタンを押して、**フォーカス**メニューを点滅／点灯させます。

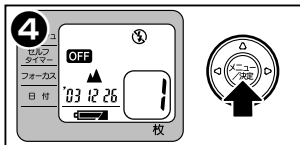
☞フォーカスモードの選択に入ります。

❸ ◁▷ボタンを押して、フォーカスモードを選択します。

☞選択中のモードが点滅します。

＊各モードの説明は38ページ～をご覧ください。

❹ **メニュー／決定**ボタンを押して決定します。

☞液晶表示部が緑に変わり、決定したモードが表示されます。

応用編

- 電源が切れると、自動的に AF モードになります。
- ▲ モード、✿モードは、1回の撮影ごとに解除されます。
  連続してご使用になる場合は、モード選択後、約2秒間**メニュー／決定**ボタンを押し続けてください（この場合、モード決定後も選択したモードが点滅し続けます）。モードは撮影後も保持され、続けて撮影できます。電源が切れると自動的に解除されます。
  ただし、人★モード（➔31ページ）の連続撮影設定時に▲、✿モードの連続撮影設定を行うと、人★モードの連続撮影設定は解除されます。
- ✿モードを選択すると、レンズが望遠側（f=100mm）に固定されます。

●フォーカスモードと選択できるフラッシュモード

フォーカスモード	AF AF(オートフォーカス)モード	▲ 遠景モード	✿ マクロモード
選択できるフラッシュモード	AUTO ◉ ϟ ⊛ 👤★	⊛*1	AUTO*2 ϟ ⊛

*1 ▲ モードでは、自動的に⊛モードになります。▲ モードが解除されると、フラッシュモードも▲ モードセット前の設定に戻ります。
*2 ◉、👤★モードを設定時に✿モードを選択すると、フラッシュモードは自動的にAUTOモードになります。✿モード解除後もフラッシュモードはAUTOモードのままです。
* 👤★モード(連続撮影設定をしていない場合)のように1回の撮影ごとに解除されるモード設定時に▲ 、✿モードを選択し、シャッターを切った後に解除すると、AUTOモードになります。

AF AF(オートフォーカス)モード

通常の撮影で使用します。

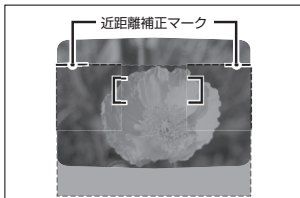
AFフレームに被写体が入るように構図を決めて撮影します(➜19ページ)。

▲ 遠景モード

風景をきれいに撮りたいときや、ガラス越しの遠景や遠い夜景の撮影などに使用します。

ピントが遠方にセットされます。フラッシュは発光しません。

- 暗いところで撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

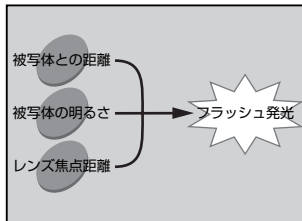
🌷 マクロモード

マクロ機構を利用して、花や昆虫などを大きく撮りたいときに使用します。

レンズが望遠側（f=100mm）に固定されます。撮りたいものが ▒ の範囲内に収まるように構図を決めて撮影します。

- 撮影できる範囲は、0.5m～1mです。
- **近距離撮影になりますので、必ず近距離補正マーク内に被写体が収まるように構図を決めてください。**
- **撮影範囲外のとき、AFランプ、イルミネーションランプが早く点滅し、シャッターが切れません（➜9ページ）。**
- **ピントが合わないときには、AFランプ、イルミネーションランプがゆっくり点滅し、シャッターが切れません（➜9ページ）。「AFの苦手な被写体について」（➜23ページ）を参考に、AFロック撮影してください。**

- ▲ モード、🌷モードは、１回の撮影ごとに解除されます。
  連続してご使用になる場合は、モード選択後、約2秒間**メニュー／決定**ボタンを押し続けてください（この場合、モード決定後も選択したモードが点滅し続けます）。モードは撮影後も保持され、続けて撮影できます。電源が切れると自動的に解除されます。
  ただし、👤★モード（➜31ページ）の連続撮影設定時に▲、🌷モードの連続撮影設定を行うと、👤★モードの連続撮影設定は解除されます。

スーパーデジタルプログラムフラッシュについて

スーパーデジタルプログラム（DP）フラッシュとは

被写体との距離や明るさ、さらにレンズの焦点距離の3つの情報から撮影の状況をカメラが判断し、フラッシュの発光光量を自動的に調節する新しい機能です。被写体が明るく遠すぎる場合以外は常に自動発光。誰でも簡単に美しい写真を撮れるようにプログラムされたフラッシュです。従来のDPフラッシュに対して近距離撮影時の性能が向上しました。
具体的な例を挙げてその効果をご説明します。

●室内や夜の近接撮影時

周囲が暗いところで近距離で撮影すると、一般的なフラッシュでは100%の光量で発光してしまうため、被写体が白く飛んでしまうことがあります。スーパーDPフラッシュでは最大で通常の3%まで光量を落とし、被写体の“白飛び”を防ぎます。

●高輝度でのポートレート撮影時

天気の良い日に人物撮影をすると、髪の毛や鼻の影で顔がまだら模様になりがちです。スーパーDPフラッシュはこのようなとき、フラッシュが自動発光して影を軽減します。明るいのに発光するのは無駄に思われるかもしれませんが、プリントを比較していただければその効果をご理解いただけると思います。

●逆光撮影時

窓際や、太陽光を背に受けて撮影すると、被写体が影になり黒くアンダーに写ることがあります。スーパーDPフラッシュはこのような場合も、フラッシュが自動的に最適な光量を発光させることで、美しい写真が得られます。

このようなときは

操作中このようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
シャッターが切れない。	①“[battery icon]”が点滅していませんか。	①新しい電池に交換してください。	13
	②電源は入った状態にセットされていますか。	②**電源**ボタンを操作して、撮影可能な状態にセットしてください。	13
	③“⚡”が点滅していませんか。	③フラッシュ充電中です。“⚡”が点滅しなくなるまでお待ちください（フラッシュ充電時間は約6秒）。	21
	④“E”が表示されていませんか。	④フィルムを取り出して、未使用のフィルムを装てんしてください。	17
	⑤[macro icon]モード時にAFランプが点滅していませんか。	⑤AFランプが点灯するように、0.5m～1mで撮影またはAFロック撮影してください。	39
フィルムを入れて裏ぶたを閉めたが、“E”が点滅している。	●フィルムの先端をFILM TIPマークまで引き出していますか。あるいはFILM TIPマークよりも引き出しすぎていませんか。	●フィルムの先端がFILM TIPマークに合うようにフィルムの長さを調整し、正しく装てんし直してください。	18
フィルムを入れて裏ぶたを閉めたが、フィルムが巻き戻され、“E”が表示される。	●フィルムを取り出すときに、モーターが止まり“E”が表示される前に裏ぶたを開けませんでしたか。	●フィルムを取り出すときには、必ずモーターが止まり“E”が表示されたことを確認してから裏ぶたを開けてください。	25
途中でフィルムが巻き戻されてしまった。	●撮影中に[rewind icon]ボタンを押しませんでしたか。	●フィルムが入っているときは、[rewind icon]ボタンを押さないようにご注意ください。	26

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
フィルムカウンターの数字が点滅している。	●撮影中のフィルムを巻き戻しせずに取り出しませんでしたか。	●フィルムを取り出してから電池を取り出し、**電源**ボタンを押してフィルムカウンターの表示が消えたことを確認します。その後、再度電池を入れてください。	27
“ꝏ”が点滅し、シャッターが切れない。	●カメラの故障です。	●富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。	

プリントがこのようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
画面がぼんやりしている。	①AF窓をかくして撮影しませんでしたか。	①AF窓をかくさないようにカメラを正しく構えてください。	19
	②被写体のねらい方は適切でしたか。	②AFフレームでねらって撮影またはAFロック撮影してください。	24
	③レンズが汚れていませんか。	③レンズをきれいにしてください。	45
	④カメラのブレではありませんか。	④カメラをしっかり構え、シャッターボタンを静かに押してください。スローシャッター時は三脚を使用してください。	19
	⑤近距離撮影時に▲▲モードで撮影していませんか。	⑤▲▲モード以外で撮影してください。	37

このようなときは

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
画面が暗い。	①暗いところでのフラッシュ撮影で、被写体が遠すぎませんでしたか。	①規定のフラッシュ撮影距離内で撮影してください。	29
	②フラッシュ撮影時にフラッシュ発光部に指が掛かっていませんでしたか。	②フラッシュ発光部に指を掛けないでください。	19
	③窓際などの逆光撮影ではありませんでしたか。	③AUTOまたは⚡モードにセットして撮影してください。	28
日付が合っていない。	●電池を入れたとき、もしくは電池交換時に修正しましたか。	●電池を入れたとき、もしくは電池を交換したときは、日付を修正してください。	14
日付が写し込まれていない／はっきり写らない。	①日付モードを“OFF”にして撮影しませんでしたか。	①“OFF”以外の日付モードを選択して撮影してください。	16
	②日付の写る位置に、白・黄・オレンジなどの明るいものがありませんか。	②日付の写る位置に、なるべく明るいものがこないようにしてください。	16

取扱上のお願い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
   ①海辺や小雨の中などで使用するときは、水が掛からないようにご注意ください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
   ②カメラケースに入っていても、落としたり、固いものにぶつけると故障の原因になります。また、振動が加わるところ（自動車のトランクなど）に放置しないでください。
2. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
3. 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス（タンスの中のナフタリン、しょうのう他）・ホコリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
4. 閉めきった自動車の中などに長時間放置しないでください。
5. 飛行機をご利用の際、未現像のフィルムやフィルムの入ったカメラは機内持ち込みされることをおすすめします。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査でカブリなどの影響が出る場合があります。
6. レンズ、AF窓、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでホコリを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。それでも取れないときは、富士フイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて、軽くふいてください。アルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
7. フィルム室にホコリがあると、フィルムを傷つけることがあります。ブロアーブラシで払って清掃してください。
8. フィルムの装てん･取り出しは、直射日光を避けて行ってください。
9. このカメラの使用温度範囲は－10℃～＋40℃です。
10. 寒冷地では電池の性能が低下しますので、衣服の内側に入れるなどして、温めてからご使用ください。なお一時的に性能の低下した電池は、常温に戻れば性能が回復します。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、裏面記載の弊社カメラ事業部 営業部かお近くの富士フイルム営業所や富士フイルムサービスステーションをご利用ください。

●無料修理

故障した製品についてはご購入年月、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

＊詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは9,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7〜10日位をご予定ください。

●海外旅行中の故障

海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外現地法人または富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外現地法人、代理店の所在地一覧表はお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

使用フィルム	135（35mm）ロールフィルム（DXマーク付き）
画面サイズ	24mm×36mm
レンズ	スーパーEBCフジノンレンズ　6群6枚構成 f=28mm〜100mm　1：5.8〜1：10.5
ファインダー	実像式ズームファインダー　0.32倍〜1.0倍　AFフレーム 近距離補正マーク　AFランプ
距離調節	パッシブオートフォーカス　0.65m〜∞　AFロック付き 遠景モード（レンズ遠距離セット、フラッシュ発光停止） マクロモード（f=100mm固定　撮影距離：0.5m〜1m） AFランプ
シャッター	プログラム式電子シャッター（1秒〜1/500秒）
露光調節	自動調節 連動範囲（ISO 100）広角（28mm時）：EV10.4（*6）〜17 望遠（100mm時）：EV13.6（*7.1）〜17 （＊はフラッシュ発光停止時）
フィルム感度	自動設定（DX方式による）　ISO 50〜3200
フィルム装てん	オートローディング方式 フィルムが送られない場合は、シャッターロックおよび液晶画面に“E”点滅
フィルム給送	電動式　自動巻き上げ　自動巻き戻し　途中巻き戻し可能（途中巻き戻しボタンによる）
フラッシュ	スーパーデジタルプログラムズームフラッシュ　充電時間：約6秒 スーパーデジタルプログラムフラッシュモード／赤目軽減モード／強制発光モード／発光停止モード／夜景ポートレート（スローシンクロ）モード 赤目軽減モードの方式：10回プレ発光し、11回目にフラッシュ発光

セルフタイマー	電子式　3コマ連写可能　作動時間：約10秒　途中解除可能 セルフタイマーランプ付き
液晶表示	フィルムカウンター（順算式）　フラッシュモード　セルフタイマー／リモコンモード　フォーカスモード　日付　電池容量 フラッシュ充電中　＊バックライト付き
電源	リチウム電池 CR2　1本
その他	日付機能　イルミネーションランプ　三脚ねじ穴付き リモコン対応
大きさ	107.0mm×60.0mm×36.0mm（突起部除く）
質量（重さ）	175g（電池別）

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

FUJIFILM 富士写真光機株式会社

●お買い上げ製品についてのお問い合わせは…

富士写真光機株式会社 カメラ事業部 営業部　〒331-9624 埼玉県さいたま市北区植竹町1丁目324番地　TEL（048）668-2236

●光機製品のお問い合わせはこちらでも承ります

富士写真フイルム株式会社 札幌営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）218-5575
富士写真フイルム株式会社 仙台営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）216-6960
富士写真フイルム株式会社 東京販売部内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30	TEL（03）3406-2387
富士写真フイルム株式会社 名古屋営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル	TEL（052）203-5262
富士写真フイルム株式会社 大阪支社内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11	TEL（06）6205-6421
富士写真フイルム株式会社 広島営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）250-0755
富士写真フイルム株式会社 福岡営業所内（富士写真光機お問い合わせ電話）	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-0255

●お買い上げ製品の修理の受付は…

札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
富士フォトサロン・東京	〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL（03）3571-9411
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
富士フォトサロン・大阪	〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL（06）6346-0222
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。

●東京、名古屋、大阪：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。
　ただし、受け渡し業務のみとなります。

●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL（03）3406-2981
富士フイルム ホームページ　http://www.fujifilm.co.jp/

Printed in Indonesia　FGS-305106-Ci-01